

EST スタート・セッション 開催記録

1. 開催状況

1. 1. 開催概要

日 時：平成18年3月17日（金） 13：00～16：30

会 場：虎ノ門パストラル 本館1F 葵の間

主 催：国土交通省、環境省、警察庁

事務局：交通エコロジー・モビリティ財団 株式会社日本能率協会総合研究所

プログラム：

時刻	プログラム
13:00	開会挨拶 (国土交通省総合政策局次長 平山芳昭) (環境省水・大気環境局自動車環境対策課 課長 岡部直己)
13:05	基調講演 日本の都市におけるE S T展開のあり方 (名古屋大学大学院環境学研究科 森川高行教授)
13:30	運輸部門における地球温暖化対策の推進と環境的に持続可能な交通を目指して (国土交通省総合政策局環境・海洋課 課長 玉木良知)
13:50	E S Tへ活用可能な交通管理システムについて (警察庁交通局交通規制課 課長補佐 磯 丈男)
14:10	多様な取組みが期待されるE S T (環境省水・大気環境局自動車環境対策課 係長 児玉知之)
14:30	支援制度を活用したE S Tモデル地域からの報告 1) L R T整備と連携したE S T取組みと将来期待 (富山市都市整備部都市計画課 主幹 高森長仁) 2) E S Tにおける行政と地域企業との連携 (トヨタ自動車株式会社 IT・ITS企画部調査渉外室 担当課長 原田 豊)
15:10	事務局挨拶 (交通エコロジー・モビリティ財団 理事長 山下恭弘)
15:15	・休憩・部屋間移動
15:25	-----E S Tスタート・セッション第2部----- 本音で話し合うE S Tモデル地域の現状と課題 ーテーマ別ラウンドテーブルー 「モビリティ・マネジメントの展開」 会場1) 本館1階 葵の間 司会 筑波大学大学院システム情報工学研究科 谷口綾子講師 ○発表団体 国土交通省北海道開発局、福山市（平成18年度） ○質問団体 神奈川県（平成18年度）、福山市（平成18年度） ----- 「バス、鉄道との連携による環境貢献」 会場2) 新館4階 ミント 司会 名古屋大学大学院環境学研究科 加藤博和助教授 ○発表団体 三郷市（平成17年度）、松山市（平成17年度） ○質問団体 秦野市（平成18年度）、広島市（平成18年度） ----- 「観光型都市における環境との共生」 会場3) 新館5階 オーク 司会 名古屋大学大学院工学研究科 山本俊行助教授 ○発表団体 奈良県（平成17年度）、札幌市（平成17年度）、 仙台市（平成17年度） ○質問団体 石川県（平成18年度）
16:25	閉会（各個別会場にて）

1. 2. 参加状況

事前申し込み234名に対して、当日は外部から招聘の発表者も含めて191名の参加であった。

表 申し込みと参加状況

種類	団体種類	申込者数	参加者数
聴講者	企業等	89	63
	自治体	24	17
	大学	19	18
	その他(NPO、財団など)	17	19
	個人	1	1
	来賓	1	1
	プレス	9	9
	府省庁職員	35	27
	モデル事業地域自治体	33	30
小 計		228	185
発表	招聘者計	6	6
総 計		234	191



EST スタート・セッション受付風景



EST スタート・セッション会場風景



EST スタート・セッション会場風景



ラウンドテーブル「バス、鉄道との連携による環境貢献」会場風景



ラウンドテーブル「観光型都市における環境との共生」会場風景



ラウンドテーブル「モビリティ・マネジメントの展開」会場風景